

平成30年11月13日

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
 代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
 (JASDAQ・コード番号3358)
 問合せ先 取締役管理本部長 岩下征吾
 TEL 0947-32-7382

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年11月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向を踏まえ、平成30年5月15日付にて開示しました、平成31年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正

連結業績予想の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,856	20	22	17	4.57
今回修正予想(B)	1,793	△51	△42	135	35.05
増減額(B-A)	△62	△71	△64	118	
増減率(%)	△3.4	—	—	667.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	1,713	△103	△190	△263	△68.08

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間において、新規顧客獲得と既存顧客のリピート率向上を図るため、SNSの「発信力」「拡散力」を持った人気タレントを活用したタイアップ企画を実施し、店舗売上高の増収に伴う食材取引高の増加に注力してまいりましたが、FC店舗における人財不足が起因となり、定休日の増加や営業時間短縮を余儀なくされた店舗も多く、さらに、平成30年7月豪雨や記録的猛暑からの台風の集中上陸といった外的要因が度重なり、ロードサイド店舗はもちろんのこと、商業施設におきましても集客力の低迷に繋がったことから、国内外食事業に係る売上高が当初の計画を大きく下回ったことから、通期連結業績予想における売上高は、前回発表予想(以下、計画という。)を62百万円程度下回る、1,793百万円の見込みで推移いたしました。

また、利益面におきましては上記で述べた売上高の減収に加え、第1四半期連結会計期間において出店しました、直営3店舗の初期投資費用及びランニングコストが計画を上回ったこと等から、営業利益において71百万円、経常利益64百万円下回ると推移いたしました。

しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、平成30年10月29日付にて開示しました「固定資産の譲渡及び特別利益(固定資産売却益)の計上に関するお知らせ」の通り、約186百万円の固定資産売却益が見込まれることから、計画を118百万円上回る135百万円で推移しております。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上